

第77回尼崎市文芸祭 審査結果【短歌】

審査結果	作品	住所	氏名
一席(市長賞)	ブラインドサッカー選手のその背にフォーメーションの図を描いてゆく	愛知県	清水 良郎
二席(教育長賞)	夏帽を腋に挟んで屈みゐる摩文仁の丘の静かな正午	大阪府	太田 省三
三席(理事長賞)	草原に影を落としてゆれてゐる栗の大樹は青き毬抱き	兵庫県	山本 淑子
選者特別賞	妹が自転車のれたでも実は私がかげで教えていたよ	兵庫県	松井 寧音
朝日新聞社賞	書架に座す馴染の辞書も歳を経て老いたる吾と同じ貌つき	兵庫県	岡崎 禎広
神戸新聞社賞	分譲地咲き乱れたるホトケノザ庄しつぶされるまでのひと月	兵庫県	和田 守玖子
産経新聞社賞	百歳の親を看ている友からの手紙にいつも押花が在る	兵庫県	久保田 智子
毎日新聞社賞	青春をばきんと折りて逝きし兄七十回目沙羅の花咲く	兵庫県	中井 明日美
読売新聞社賞	釘ひとつ落したやうな悔いもちて陸橋渡る一日の終りを	兵庫県	伊野 トセキ
佳作	見上ぐれば若葉の中に空があり自分は自分であると思う日	奈良県	松井 純代
佳作	安治川をぼんぼんと呼ぶ渡り船自転車に乗せ初夏の風乗せ	大阪府	水野 正明
佳作	年ごとに見に行く蛍と気付かぬ内に離れた背丈	兵庫県	竹内 琴子
佳作	夢の中で駅のホームに立つわれは旅立ちたいのか待っているのか	兵庫県	佐竹 由利子
佳作	放送は自宅からとうアナウンサー生活感なき声は変わらず	大阪府	笠井 くみ子
佳作	昼休みジャムパンを手にレジで待つ足型マークに両足のせて	奈良県	和田 康
佳作	じいちゃんに買ってもらったスニーカーずっと走っていける気がする	群馬県	金子 歩美
佳作	母さんのその日の機嫌は父の乗る車椅子へと伝わっている	京都府	丹羽 紗矢香
佳作	地図上に解体前の我が家あり原発避難変わるふるさと	東京都	矢内 明子
佳作	花の名を忘れた母に教えようかつての母が吾にしたように	愛知県	波多野 有子
佳作	送り火の意味すら知らぬ幼子が茄子馬などで帰れるやろか	神奈川県	井上 靖
佳作	父一人姿勢崩さず写りたるサクラ咲く日の昭和の一枚	滋賀県	小見 伸雄
佳作	花の蜜吸ふかに花野を軽やかに母の杖には羽の生えたり	神奈川県	久保田 聡